

## 2024年「新年を迎えて」

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

はじめに、元日に発生した能登半島地震により、犠牲になられた方々に哀悼の意を申し上げますとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、わが国の金融環境は、緩やかに景気が回復するなか、物価の持続的な上昇に伴い、日本銀行による金融政策の変更が見込まれるなど、長らく続いた低金利時代から「金利のある世界」へと大きな転換局面にあり、円債や株式といった円資産への投資魅力が高まってまいりました。

こうした環境変化のもと、弊社といたしましては、信用金庫をはじめとした機関投資家の皆さまの購入ニーズと発行体様の起債ニーズの両方に適切にお応えできるよう、証券仲介機能の強化に取り組んでおります。

また、ETF業務につきましては、本年4月から一般振替DVP決済の取扱いを予定するなど、お客様の多様なニーズに沿った機能の拡充を進めております。

さらに、お客様のニーズに迅速かつ丁寧に応えるために、これまで以上に社内の人財育成への取組みを強化するとともに、信頼に足るBCP態勢の構築を進めております。

本年も、コーポレート・アイデンティティである「先用後利」の精神を実践すべく、役職員一丸となって全力で努力を続けてまいります。

皆さまには、引き続き、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新春のご挨拶といたします。

しんきん証券株式会社

代表取締役社長 佐々木英樹